

**2007 JET PROGRAMME TOKYO ORIENTATION  
ELEMENTARY SCHOOL VISITS WORKSHOP HANDOUT**

小学校訪問 分科会資料

Presenters

Orientation A: Ahkey Liao, Roger Mathews

Orientation B: Casey Novotny, Justin Ratcliff, Judah Reynolds

Online Game Ideas and Resources:

100s of Game Instructions     <http://www.cirhomepage.org/> (CIR LIBRARY Resource game page)

Kids Games                     <http://www.gameskidsplay.net/>

Party Games                    <http://freespace.virgin.net/ken.tew/party/list.html>

English Games                 <http://abcteach.com/>

Two Recommended Game Ideas:

信号ゲーム

人数：40人以下

対象：小学校1年～6年生

必要な物：赤、黄色、緑三色のカード

ゲームの目的：国際理解。同じ国でも人はそれぞれ違うことを子供たちに伝える。

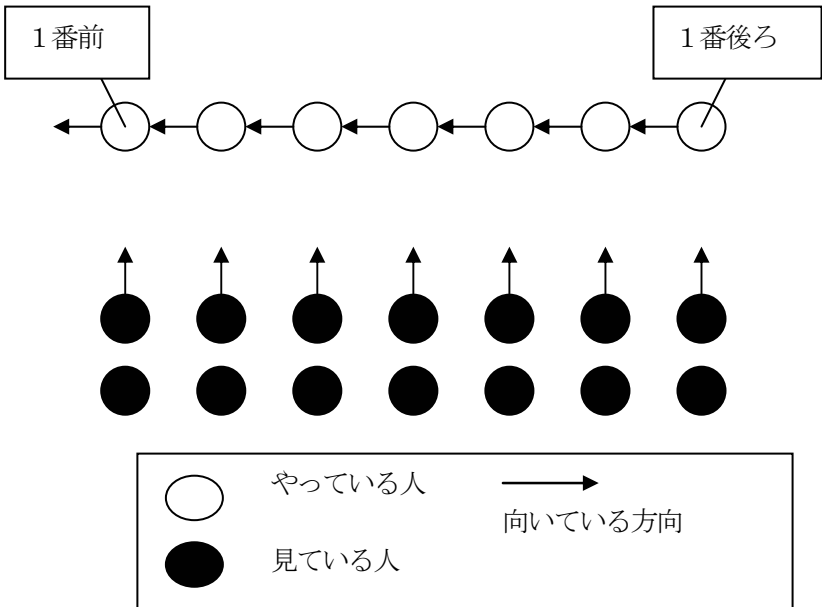
ルール：

1. 子供たちに各色のカードを一枚ずつ配る。
2. 国についての質問をし、正しいと思ったら緑のカードを挙げる、正しくないと思ったら赤のカードを挙げる、どっちでもないと思ったら黄色いカードを挙げる。
3. 質問は、XXX人はXXXXです、ということ質問する。例えば、ブラジル人はサッカーがうまい。ケニア人は走るのが速い。アメリカ人は白人。

その時必ず赤と緑色のカードしか挙げない子供がいる。最後に、正解は全部黄色ですと子供たちに伝え。その理由を説明する。(理由：ブラジル人だからと言って、サッカーにうまいとは限らない。サッカーが出来ないブラジル人もいる。) このゲームをアイスブレイキングとして国の紹介の前にしたら効果的。先入観をもたないように国の紹介を聞いてもらう。

## 国際交流・異文化理解アクティビティー

アクティビティー名	パントマイム伝言
対象者	7才以上
所要時間	20分
適した人数	8～10人(ゲームに参加する人)
適した場所	どこでもよい
準備物	伝言カード、笛、ストップウォッチ
ねらい (参加者にどのようなことを考え、感じてもらいたいか)	言葉を使わずに物事を伝えることの難しさに気づく。また、言葉以外のコミュニケーションの方法もあるということも気づかせる。

<p>すすめ方</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>参加者を、8～10人一組のグループに分ける。</li> <li>1つのグループが立ち、一列に並ぶように指示する。</li> </ol>  <ol style="list-style-type: none"> <li>ファシリテーターは、以下の注意事項を説明する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者は、ゲーム中肩を叩かれるまでは絶対振り向かない。</li> <li>一番後ろの人以外は、カードを見てはいけない。</li> <li>見学している人はカードを見てもよいが、ゲーム中は話さない。</li> </ul> </li> <li>1番後ろの人にカード（ある物と動作の名前が書かれたカード）を見せる。 （カード例）カエル、シャワーをする、など。</li> <li>1番後ろの人が1人前の人の肩を叩き、その人が振り向いたら、言葉を使わずに、身振り手振りだけでカードに書かれた言葉を伝える。この演技の時間は約5秒か、10秒に限る（時間制限のため、笛とストップウォッチを使って注意する）。次に、後ろから2番目の人が、1人前の人の肩を叩き、同じように演技する。1番前の人に届くまで続ける。</li> <li>1番前の人が皆に向かって、カードに何が書いてあったかを推測して発表する。</li> <li>2枚目のカードで、違うグループが同じゲームをする。</li> <li>参加者の感想を聞く。 （例）どうだった？ 難しかった？ 何が難しかった？、など。</li> <li>まとめ（ファシリテーターからの説明） このゲームに似ている実際にありそうな場面（言葉のわからない外国人が日本人とコミュニケーションを取る時など）について考えてみよう。</li> </ol>
<p>上手く実施するためのヒント</p>	<p>★グループ対抗で伝えるスピードや正確さを競争させると、より盛り上がる。</p>
<p>実施前に必要な準備</p>	<p>伝言カードの作成</p>
<p>備考</p>	

- JETs are welcome to call the JETLINE, M-F 9:00-17:45 (03-3591-5489)
- Frequently check the JET Programme website: [www.jetprogramme.org](http://www.jetprogramme.org)
- JETs can also call the AJET-sponsored Peer Support Group, everyday 8pm – 7am. (0120-437-725)